

# 自律の気概あふれる まちをめざして

～ この町に誇りと愛着を持って  
皆さんの知恵を行動に ～

企画振興課 ☎526552 有線⑤8963

## 町長に提言報告書を提出

8月19日、自律のまちづくり住民懇話会から日野町長に対し、「日野町自律のまちづくり住民懇話会提言報告書」が提出されました。

住民懇話会では、「日野町自律のまちづくり計画」を策定するにあたり、行財政の課題について認識の共有を図ると共に、住民の視点での参画と協働のあり方やまちづくりの方向性などについて、27回にわたる会議で議論を深めて来られました。

まさに住民の手作りによる提言報告書をいただきました。概要は次のとおりです。

## 住民の暮らしのサポートを 基本に行政改革を

まず、第4次総合計画と自律のまちづくり計画との関係では、激変する行財政環境に対応して、第4次総合計画を補完し、住民と行政の協働による持続発展可能な新たな地域社会を創造するために、まちづくりの展望を明らかにした計画書となるよう提言されています。さらに、住民の暮らしをサポートすることを基本にしながら行政改革を進め、住民との議論を通じて計画を策定するよう示されています。



▲住民懇話会寺澤座長から町長へ、提言報告書が手渡されました。

## 住民の声を反映した 政策展開を

日野町を取り巻く様々な社会情勢の中で、分権型社会を実現するため

に、地域の住民ニーズに添って自主的、自律的かつ効果的な行政運営を行うことができる仕組みを構築する必要があります。このため、住民の声を反映した政策展開と地域の果たす役割が期待される時代がやってきているとされています。

## 地域が抱える課題は、 まず地域の自主、自律で

地域が抱える課題の解決は、それぞれの地域が主体となつて総合的に取り組む必要があります。分権型社会（地方の時代づくり）が注目され、従来の中央集権的な仕組みや施策が見直され、地域が自主、自律的に課題解決に取り組んでいけるような新たな仕組みや施策を創り出していく必要性を示されています。

## 提言「自律のまちづくり に向かって」

今日までの地域固有の伝統、文化、生活様式を綿々と築き大切にしてきた先人たちは、個人のできることは個人で行う（自助）を原則としつつ、近隣社会で互いに助け合う（互助）精神を学び、さらに時代の中で扶助（公助）を得ながら開拓進取の精神を温めてきました。こうした先人た

ちの姿こそ、自律のまちづくり「日野ルネッサンス（地域復興）」のありべき姿だとされています。

地域・町内会・自治会・集落に伝統的に受け継がれてきた、優れた技術や英知、文化の基本などを継承、発展させ、資源として活用できるように作り直していくことこそ、自律のまちづくりの原点。その資源をいかに活かしていくか、わが町“意識を育てる中で町に対する誇りを持ち、日野の個性と人材を活かす、まちづくりを実践していくことが大切だと提言されています。

7つの重点項目については、「広報ひの」7月号から9月号で懇話会の議論の内容をお伝えしましたが、各項目について、個人や家庭、地域や団体、行政や企業が自律のまちづくりに向けて、取り組める内容を住民の視点で、行動できる内容が示されています。

町では、この提言報告書を受けて自律のまちづくり計画案を策定し、住民の皆さんにご意見をいただき、年内に策定できることを目指して取り組めます。

なお、提言報告書は町のホームページおよび、役場企画振興課でご覧いただけます。